

演題名	医療消耗品における単価の削減		
施設名	医療法人社団 健育会 石巻健育会病院	(ふりがな) 発表者(職種)	(たけうち しゅうへい) 武内 修平 (総務)
(ふりがな) チーム名	(さげっちゃん) さげっちゃん!		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組み種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	近年、新型コロナウイルスやウクライナ情勢、原油高や円安の影響により医療消耗品の単価が値上がりしている。さらに感染対策のため、PPEの使用量も増加し医療消耗品の使用金額が増加している。そんな経済状況、感染対策の中でも医療経営を維持していくために、医療消耗品の単価を下げ、コスト削減に繋げることをテーマに取り組むこととした。		
改善の指標と その目標値	(指 標)年間コスト削減金額(単価削減差×2023年使用数) (目標値)2023年上期コスト削減実績105万円を上回る150万円の削減を目標とした		
実施した対策	①職員にコストを意識してもらうため月の医療消耗品使用金額と商品別の単価・使用金額表を掲示し周知 ②卸業者とメーカーから多くの同等品と見積もりを依頼し切り替えの検討と現行品の価格交渉 健育会グループの単価表を確認し同一商品の単価値下げ交渉と同等品の単価比較をし切り替えを検討 ③コスト適正化支援をマネージメントの一つとして行っている会社と単価を比較し、値上がりしたままの商品がないかなどを確認		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前)年間削減金額 2023年上期コスト削減実績105万円 (実施後)年間削減金額 247万円削減(単価削減差×2023年使用数計算)		
歯止めと 標準化	(標準化)価格が値上がりする医療消耗品の変更が可能かを見直ししていく (教育)職員一人ひとりのコスト意識を向上させるため価格一覧表掲示の継続 (管理)事務部会議にて削減実績情報を共有する		
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動 ②複数の職場が連携した活動	チーム メンバー (職種)	1 武山裕美子 看護師
活動の場 ※複数選択可	③管理部門 ④その他		2 木村悠希 理学療法士
活動期間	2024年1月～2024年6月		3 堀井竜司 診療放射線技師
リーダー名 (職種)	武内修平(総務)		4 高橋麻衣子 臨床検査技師
活動回数	10 回		5 武内修平 総務
			6 7 8 9 10 11 12 13

【現状把握】

現状把握 ①単価変動状況(2019.1~2024.1比較)

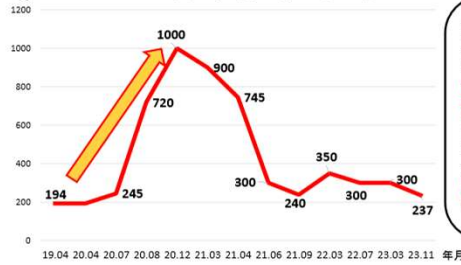
コロナ禍・物価高騰前後の単価を比較

	総務課	検査科
値下げ	36品目	3品目
値上げ	74品目	23品目
変わりなし	47品目	49品目
比較対象なし	76品目	17品目

毎年コスト削減には取り組んでいるが、コロナ禍・物価高騰以前に比べると**値上げしている品目数が多い**

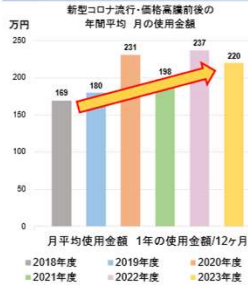
現状把握 ②単価変動状況(プラスチック手袋)

プラスチック手袋1箱単価(1箱100枚入り/円)



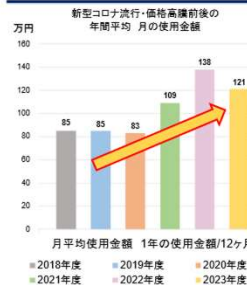
最も単価が変動した商品を探したところ、プラスチック手袋はコロナ禍前は1箱194円だったのが**1000円まで上昇**。価格交渉・卸業者の変更・メーカーの変更・価格変動を繰り返して、23年11月は1箱**237円**まで単価を下げています

現状把握 ③総務課 医療消耗品使用金額



コロナ禍によりPE使用の増加、物価高騰の影響で値上げ品が多くあり、コロナ禍以前に比べ**月40~50万程度使用金額が増加している**

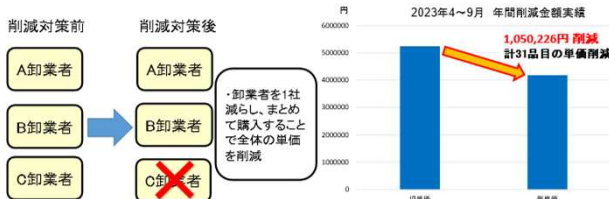
現状把握 ④検査科 医療消耗品使用金額



検査科も値上げや、新型コロナウイルス検査に必要な消耗品が増えたため、コロナ禍前に比べ**月40~50万程度使用金額が増加している**

現状把握 ⑤2023年4月~9月(上期)コスト削減実績

2023年上期6ヶ月間でコスト削減に取り組み、**年間削減金額の実績は105万円削減**



- ①コロナ禍・物価高騰以前と活動開始時の単価を比較。総務課・検査科から注文している消耗品のうち、97品目が値上がりしていることが分かった。
- ②月の使用金額が高く、最も単価変動の大きかったプラスチック手袋の状況を確認。1箱194円から1000円まで上昇し、その後は卸業者やメーカーの変更、感染・経済状況で値下がりもあり、活動開始時は237円となっている。
- ③④総務課・検査科で管理している医療消耗品の月平均使用金額を2018年から2023年まで把握。コロナ禍前に比べると総務課・検査科ともに、月の使用金額は40~50万円増加していることがわかった。
- ⑤2023年上期コスト削減に取り組んだ年間削減金額・方法・品目数を確認。

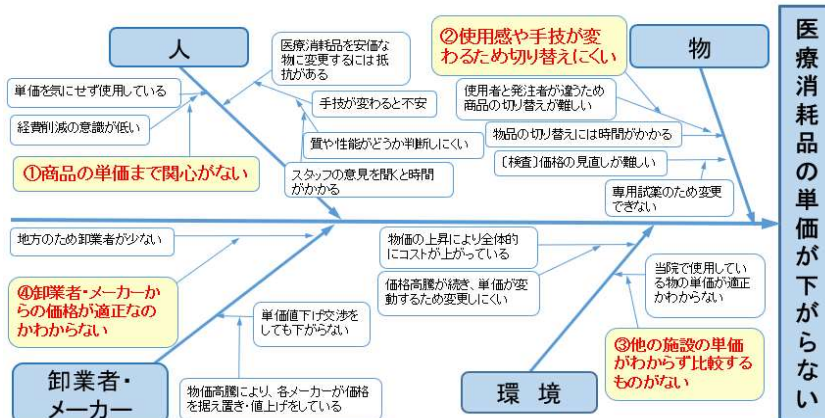
【目標設定】

いつまでに	2024年5月末までに
何を	年間コスト削減金額を
どうする	2023年上期削減実績105万円を上回る150万円削減する

〔管理特性 = 年間コスト削減金額〕

単価削減金額差 × 2023年使用数 = 年間コスト削減金額

【要因解析】

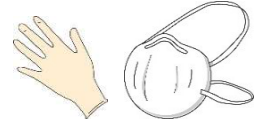


■特性要因図より

医療消耗品の単価が下がらない要因について「人」「物」「環境」「卸業者・メーカー」の4つの視点から洗い出した。結果4つの重要要因が浮き彫りになった。

【重要要因の検証】

	重要要因	検証方法	結果から分かったこと	判定
①	商品の単価まで関心が無い	・アンケートの実施	・単価はわからない、という回答が多かった(31名/60名) ・月の使用金額はわからない。回答が多かった(46/60名) ⇒コスト意識はあるが、実際の金額を知らない人が多かった	○
②	使用感や手技が変わるため切り替えにくい	・アンケートの実施	・使用感・手技が変わっても良い(31名/60名)、使用して問題がなければ変えても良い(28名/60名)という回答が多かった ⇒今まで検討していなかった商品の切り替えも検討できることがわかったが重要要因ではなかった	×
③	他の施設の単価がわからず比較するものがない	・近隣病院の情報収集 ・健育会グループの単価比較	・近隣3医療機関のプラスチック手袋の単価を情報収集したところ、当院含め4医療機関中3番目の単価であった ・健育会グループの仕入れ単価表を調べると、同一商品で安価な物もあった ⇒単価を下げる余地があることがわかった	○
④	卸業者・メーカーの価格が適正かわからない	・卸業者4社、メーカー11社に同等品の見積もり依頼	・同等品で安価な商品が数点あった ⇒現在採用している商品の単価が高く、同等品で安価な商品への切り替えの検討と、採用商品の価格交渉の余地があることがわかった	○



【対策の立案と実施】 3つの重要要因に対し、一次から三次対策まで立案、対策の実施を決定した。

対策立案

◎5点 ○3点 △1点 10点以上を実施

年間150万円削減するために	重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	実現性	効果	点数	採否	順番	
					◎	○	△	11	採	1
①商品の単価まで関心が無い	①商品の単価まで関心が無い	単価に関心・意識してもらう方法を考える表を作成する	使用金額や単価を把握してもらう方法を考える表を作成する	使用金額、単価一覧表を掲示する	◎	○	○	11	採	1
					◎	○	○	11	採	2
					◎	○	○	11	採	3
②他の施設の単価がわからず比較するものがない	②他の施設の単価を把握する	近隣医療機関のプラスチック手袋価格調査・価格比較をする 健育会グループの仕入れ表から同等品の単価を比較する	安価商品への切り替え検討	◎	○	○	15	採	2	
				◎	○	○	15	採	2	
				◎	○	○	15	採	3	
③卸業者・メーカーの価格が適正かわからない	採用商品の価格が適正かを把握する	卸業者・メーカーから同等品や安価な商品の見積もりとサンプル依頼、採用商品の価格交渉もする コスト適正化支援を行っている会社と協賛保持契約を結び、単価情報を伝える	適正価格の確認	◎	○	○	11	採	3	
				◎	○	○	11	採	3	
				◎	○	○	11	採	3	

対策の実施

実施項目(なにを)	誰が	いつ	どこで	なぜ	どのように
1 使用金額、単価一覧表を掲示する	武山 木村	4月	各部署	一人ひとりのコスト意識を高めるため	部署に掲示し使用金額や単価を把握してもらう
2 安価商品への切り替え検討	高橋 武内	3月~5月	看護部師長主任会議にて検討	実際に使用する看護部の評価で切り替えを検討するため	サンプルの使用、切り替え品はデスクネットにて商品変更の回覧を流す
3 適正価格の確認	武内	4月~5月	データ上での確認	価格を比較し価格が値上がりしたままの商品がないか確認するため	コスト適正化支援会社から提示された価格表を確認し、現行商品の価格が適正かを確認する

①月の種類別使用金額・単価表を掲示し周知

医療消耗品 種類別使用金額



医療消耗品 単価・月額使用金額一覧

商品名	単価	単位	月額使用金額
1 プラスチック手袋	¥2.37	枚	¥250,000
2 N95マスク	¥80	枚	¥220,000
3 血糖測定 チップ	¥60	個	¥154,000
4 サーフロー針	¥84	本	¥80,000
5 60滴輸液セット	¥248	本	¥66,000
6 吸引カテーテル	¥10.5	本	¥55,000
7 アルコルジェル置き型	¥600	本	¥50,000
8 栄養セット	¥61	本	¥50,000



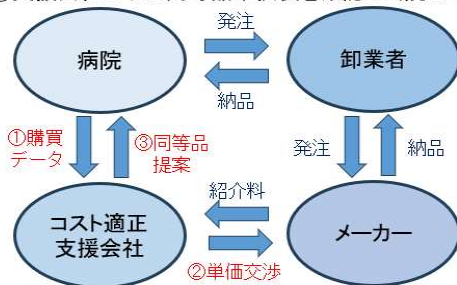
②看護部師長主任会議で切り替え検討



更に各病棟で使用感について評価

③適正価格の確認

- ①コスト適正支援会社に購買データを提出
- ②支援会社・各メーカー間で同等品の単価交渉
- ③支援会社からの同等品単価表を確認し当院の単価と比較



※提案品を採用しても当院から支援業者に費用は発生しない(支援会社は採用となったメーカーから紹介料を頂く)

■対策①月の種類別使用金額・単価一覧表を掲示し周知。職員一人ひとりのコスト意識を高める取り組みを実施した。

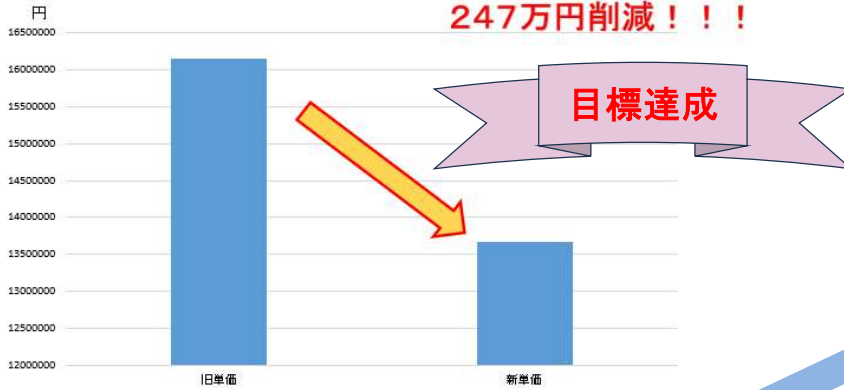
■対策②看護部師長主任会議で安価商品への切替検討会の実施。各メーカー・卸業者から安価商品の価格表とサンプルを確認し、商品の切り替えを行った。同時に現行品の単価交渉も進めコスト削減の大きな対策となった。

■対策③適正価格の確認としてコスト適正化支援をマネージメントの一つとして行っている会社に依頼し単価の比較をした。多くの商品は支援会社が紹介できる単価と同額程度であり価格の適正を確認できた。

【効果の確認】

目標削減金額 年間150万円に対し...

247万円削減!!!



- 22品目の商品の切り替え
- 5品目の現行商品の値下げ

合計27品目の単価を下げた!

2024年1月~5月末 年間削減金額

値下げした27品目の内訳

	商品名	旧単価	新単価	年間削減金額		商品名	旧単価	新単価	年間削減金額
1	プラスチック手袋(100入り)	237円	198円	468,000円	15	ニトリル手袋(200入り)	770円	670円	39,000円
2	血糖測定 チップ	60.4円	39.8円	446,400円	16	ドレッシングテープ(m単価)	250円	145円	37,800円
3	IDNOW新型コロナウイルスv2.0	5,416.6円	5,166.6円	180,000円	17	ジェルソックステープ⇒優肌絆	170円	116.7円	37,338円
4	N95マスク	80円	74.5円	165,000円	18	カイセロセリ(1g単価)	6円	5.1円	30,600円
5	不織布かごせ(200枚入り)	400円	240円	153,600円	19	血糖測定 針	9.7円	8.3円	29,520円
6	衛生ローション(m単価)	188円	48.2円	125,820円	20	サージカルテープ⇒優肌絆	1625円	87.5円	25,200円
7	ヘアキャップ(100枚)	1150円	670円	115,200円	21	ヘキシソ(60包)	440円	320円	18,000円
8	アイソレーションガウン	79.6円	68円	114,240円	22	サージカルマスク(50枚入り)	189円	168円	15,120円
9	ドレッシングフィルム	73.5円	35円	92,400円	23	スワブ搬送容器	285円	18円	12,600円
10	インフルコロナ同時検査キット	1,300円	1,100円	84,000円	24	18オンス紙コップ	9.25円	8.88円	11,250円
11	Yカットかごせ(50枚入り)	730円	423円	73,680円	25	【リハ部】ヘキシソ⇒ウェットシート	7.3円	1.5円	7,446円
12	酒精綿(200包)	400円	340円	64,800円	26	胃透視発泡剤	67.3円	61.82円	5,440円
13	採尿パック	384円	275円	62,784円	27	血糖測定 穿刺器具	1430円	100円	5320円
14	HbA1c用試薬	475円	450円	57,500円		合計削減金額			2,478,058円

【効果の確認】無形効果 波及効果

■ 無形効果

- ・物品の単価が分かり、コスト削減の意識が高まった
- ・定数の見直しに繋がった
- ・同じ製品を使い続けていたが、活動を機に消耗品の見直しができる

■ 波及効果

- ・安価な物に変更になったが、質の良い物(肌に優しいテープなど)に変更することができ、患者さんへのケアに繋がることができた
- ・当院で切り替えた商品が他の健育会施設でも導入するきっかけになりグループとしてのコスト削減にも繋がった

血糖測定器: 3施設切り替え
プラスチック手袋: 介護老人保健施設しおん切り替え

【標準化と管理の定着】

	実施項目 (WHAT)	誰が (WHO)	いつ (WHEN)	どこで (WHERE)	なぜ (WHY)	どのように (HOW)
標準化	価格が値上がりする医療消耗品を	発注担当者	変更時	師長主任会議	コスト削減のための消耗品の変更が可能かどうか	品質を確認する
教育	医療消耗品の価格一覧表を	発注担当者各管理者	価格と商品変更時	各部署	コスト削減の意識向上のため	掲示の継続と周知
管理	コスト削減一覧表で	発注担当者	半年毎に	事務主任会議	コスト削減の情報を共有するため	削減金額を報告する

【反省と今後の進め方】

	良かった点	悪かった点	今後の課題
テーマの選定	新年度の経営方針に合ったテーマだった 多職種で取り組むことにより、これまで以上のコスト削減に繋がった	-	単価が変動する経済状況により安く質を保てるようメーカーと情報交換していく
現状の把握	コロナ禍前後での値上げ品目や使用金額を細かく把握することができた	単価変動している品目が多くデータ収集に時間を要した	値上がりする商品の把握と商品切り替えの情報収集をする
目標設定	これまで削減に取り組んできた以上の目標値を設定できた	管理特性をどうするか悩んだ	経済状況を考慮し継続して目標を定め削減に取り組む
要因分析	要因分析をすることにより今まで切り替えを検討していなかった商品も検討できることが把握できた	要因の分析に時間を要した	今回以外の要因も考えられるため、視野で情報を収集し要因分析と分析をおこなう
対策の立案と実施	グループ別、近隣病院など多方面に単価比較をすることや卸業者・メーカーにアプローチしやすくなった	値下げ交渉、切り替え検討は困難だったがコスト削減会社との連携が悪くなり対策がやや遅れた	今回の取り組みで切り替えを検討しなかった商品もコスト削減の商品として検討していく
効果の確認	目標金額を上回る結果となった 健育会グループでも同メーカーの採用にも繋がる商品があった	3月~4月前降・コロナクラスターが発生し、FPE使用量が増加したため、通常時の使用金額データがとれなかった	今後もデータ収集を継続し、使用金額の確認をしていく
標準化と管理の定着	医療消耗品の価格一覧表を作成することができた	-	定期的な商品の見直しと製品について師長主任会議で情報発信していく

- 今後も値上げが考えられるため、商品の切り替えや情報共有をしていく。
- 単価が変動する経済状況の中でもより安く、質を保てるよう今後もコスト削減に取り組んでいく。